

自動車販売台数、中米日の3カ国に続くのは...

自動車販売は長らく世界の代表的な自動車生産国である米日独（米国、日本、ドイツ）の3カ国が上位を占めてきました。2000年以降、中国で自動車の利用者が急拡大し、2009年には、金融危機の影響で自動車販売が低迷した米国を抜いて、世界で最も自動車売れる国になりました。

中国に続き、米日独に迫ってきているのがブラジルです。今年3月末に景気刺激を目的とした乗用車購入に対する減税策が打ち切られたため、駆け込み需要の反動が懸念されましたが、販売は底堅く推移しており、2010年にドイツを抜いて、世界第4位の生産国になる見込みです。

ブラジルでは好景気を反映して、労働者の賃金の上昇が続いています。ブラジルの場合、賃上げによる購買力の向上に加えて、長期にわたりインフレで苦しんだため、（インフレ時に価値が低下する可能性のある）貯蓄にあまり熱心ではなく、「宵越しの銭を持たない」という国民が多いことも、自動車の販売が拡大するなど昨今の個人消費の増加の一因とも言われています。

ブラジルに限らず、新興国各国で自動車の売り上げが急速な伸びを見せていますが、所得水準が向上したことが、その背景にあると考えられます。ゴールドマン・サックスの予測によると、BRICsは次の10年間で世界の自動車販売の増加分の70%を占める可能性があります。

自動車販売台数の上位国推移



2008年

1位		米国
2位		中国
3位		日本
4位		ドイツ
5位		ロシア



2009年

1位		中国
2位		米国
3位		日本
4位		ドイツ
5位		ブラジル



2010年

1位		中国
2位		米国
3位		日本
4位		ブラジル
5位		ドイツ

（出所）日本自動車工業会などのデータを基にGSAMが作成。2010年は予測値。

新興国の株価指数を「グローバルマップ」でチェック www.gsam.co.jp

